

委員会付託内容・審査報告

※議案名などは、採決結果一覧(6ページ)を参照ください。

決算特別委員会

9月14日、15日及び19日の3日間にわたり決算特別委員会を開催し、付託された平成28年度各会計歳入歳出決算の認定1件について執行部から詳細なる説明聴取と質疑を通じて、慎重な審査を行いました。



審査結果
認定第1号は認定。
認定第1号は認定。
どおり事業が達成されたものと認められる内容となっております。

審査報告
平成28年度においては、少子高齢化の進展や権限移譲による社会保障費の増加など、本市の財政を取り巻く環境は、依然、厳しい状況となっております。そのような中、歳入としては、地方消費税交付金は前年度より減額となったものの、市税については個人住民税、固定資産税及び軽自動車税が、徴収体制の強化等により収納額は上向いております。

一方、歳出としては、第5次総合計画を基本に限られた財源の中で概ね計画
決算特別委員会
委員長 前之園 孝光
副委員長 小倉 利昭
委員 森 建二
委員 蛭 田 公二郎
委員 堀 本 孝雄
委員 黒 須 俊隆

総務常任委員会

9月12日に総務常任委員会を開催し、付託された議案4件、陳情1件について慎重な審査を行いました。

審査結果
議案第1号、議案第3号、議案第7号及び第8号は原案可決。
陳情第5号は不採択。

主な質疑
●議案第1号
問 現在大網小学校で学童保育等を

行っているが、隣接地にこれらの機能を持った施設を建設する理由は。
答 大網小学校では、今後児童の増加が見込まれており、平成31年度には学童保育室を校舎外に確保しなければならず、子育て交流センターにその機能を持たせることとした。

問 保育士処遇改善事業において、来年度以降も市は現在の事業を継続していく考えはあるのか。
答 保育士を確保するために、県補助金が継続されれば、本市としても本事業を継続していく考えである。

●議案第8号
問 市の業務委託先が変わることに伴

文教福祉常任委員会

9月13日に文教福祉常任委員会を開催し、付託された議案2件について慎重な審査を行いました。



審査結果
議案第2号及び議案第4号は原案可決。

主な質疑
●議案第4号
問 大網病院では本年6月から

新たに午後の診療を開始したとのことだが、現在の状況はどうか。
答 午後診療における一月あたりの患者数は6月が196人、7月が246人、8月が315人であり、増加傾向にある。

ある。また、午後診療を行っているのは内科、外科、整形外科である。
文教福祉常任委員会
委員長 加藤岡 美佐子
副委員長 小金井 勉
委員 蛭 田 公二郎
委員 秋 葉 好美
委員 堀 本 孝雄
委員 宮 間 文夫

産業建設常任委員会

9月13日に産業建設常任委員会を開催し、付託された議案2件について慎重な審査を行いました。

審査結果
議案第5号及び議案第6号は原案可決。

主な質疑
●議案第6号
問 小中池公園再整備について、何年度のプランで事業計画を考えているのか。
答 現段階は最初の構想の段階であり、年次計画というものは定まっていない。今回、構想を検討し基本的な考え方が定めれば、次の段階として施設の計画を策定し、その後設計、工事、竣工という流れとなる。



ゴミ処理施設を見学

産業建設常任委員会終了後、東金市外三町清掃組合クリーンセンター等を現地視察しました。現在の稼働状況などについて清掃組合より説明を受けました。
産業建設常任委員会
委員長 田 辺 正弘
副委員長 前之園 孝光
委員 石 渡 登志男
委員 黒 須 俊隆
委員 倉 持 安幸

い、委託金額の変更はあるのか。
答 千葉県町村会から千葉県市町村総合事務組合へ業務委託先を変更するものであり、委託金額の変更はない。

主な意見
●陳情第5号
「北東アジア地域での軍事的緊張が高まっている状況の中で、日本を防衛する観点からも機動性に優れた機体であるオスプレイの飛行を中止させてしまふのはいかがなものか」などの陳情に反対の意見や、「米軍の発表にもあるように、人為的なミスで墜落事故が頻発に起ると言わざるを得ない。

また、この陳情は戦間機すべてを否定するものではなく、危険なオスプレイに関して飛行を中止するように求めているのであり、賛成するべき」との陳情に賛成する意見がありました。

総務常任委員会
委員長 山 田 繁子
副委員長 佐久間 久良
委員 森 建二
委員 小 倉 利昭
委員 北 田 宏彦
委員 花 澤 房義

行政視察研修概要

所掌事業の調査・研究のため、産業建設常任委員会及び総務・文教福祉常任委員会による行政視察研修を実施しました。研修内容の概要を掲載します。

産業建設常任委員会

○視察日 10月3～5日
○視察先・事項
●防府市「クリーンセンター及びゴミ減量化の取り組み」
●防府市「バイオガス化施設を併設、さらに隣接する下水道浄化センターの汚泥も合せて、国内初の効率的な廃棄物発電を実施し売電も行っている。」
●防府市「環境に優しいゴミ処理施設



防府市・環境に優しいゴミ処理施設

●広島市「集中豪雨災害被災地の復旧・復興状況」
平成26年の集中豪雨により被害を受けた地区を対象として、住民の意見を取り入れた復興まちづくりビジョンを策定。国・県・市が連携し砂防堰堤、避難路、雨水排水施設の整備及び住宅再建の支援を10年計画で行っている。



広島市・被災地の復旧工事現場

●呉市「空き家対策」
市では高齢化や人口減少により、空き家が増加傾向。空き家の解体費用を一部補助する事業を行い、危険な空き家の解消を進める一方、空き家バンクや移住者の住宅取得支援事業により、定住人口増加の取り組みを行っている。しかし未登記の建物など課題も多い。

総務・文教福祉常任委員会

○視察日 10月11～13日
○視察先・事項
●南城市「観光危機管理計画」
市内には様々な観光資源があり、年間270万人が訪れる。災害が発生した場合、観光客へ情報発信・避難誘導を行うため沖縄県の市としては、初めて観光危機管理計画を策定した。安心安全な観光地としての南城ブランドの形成を目指している。



南城市・観光危機管理計画とは

●読谷村「知産地笑の取り組み」
知産地笑とは、地元を知ること、産物や産まれ地元が盛り上がり笑顔があふれる村づくりを目指す取り組み。村では農業などの第一次産業が盛んで、昔から紅いもの産地であったが、生での商品価値はあまり無かった。平成元年から村を上げて、紅いもの商品開発に取り組み、「紅いもタルト」を産み出した。地元農家は販売先が確保され、紅いもの生産に一層力を入れている。
村民に愛される村づくりを続けること、村を発展させていく考えである。
●糸満市「教育の日・教育月間」
市では、「子どもは地域で育てる。地域のことは地域で解決する」という考えの基、毎年1月10日を教育の日として市内幼稚園・小学校・中学校を学校開放し、地域住民は誰でも参観できることとした。
また、今年度は学力向上のための取り組みとして「問いを意識した主体的・対話的で深い学びの構築を図る」こと等を目標としている。



読谷村・地域振興センターにて